

これからはじめる防災対策・4
～家庭でできる防災訓練～

●在宅避難とは

「在宅避難」という言葉をご存知でしょうか。
在宅避難とは、災害時に避難所に行かず、自宅で生活を続けることです。
体育館の床の上で寝なくてすむ、プライバシーの心配がないなど
避難所生活のストレスを避けられるというメリットがあります。

また自治体によっては、耐震性能や防火性能が高いマンションの住人に対し
在宅避難を勧めているところも少なくありません。

というのも、今後発生すると思われる
首都直下地震や南海トラフ巨大地震などの大規模災害発生時、
都市部では避難所が不足することが予想されているためです。

●在宅避難の問題点

マンションで在宅避難をする場合、問題のひとつが「高層難民問題」です。
停電等によってエレベーターが止まり、重要な移動手段がなくなるため、
水や食料、トイレの確保が難しく、
個人・一家族では、在宅避難が困難なケースも出てきます。

そこで住民が自主防災組織を結成し、個人や共有の備蓄品を準備したり、
お互いに支え合う体制を整えるなど対応を考えておく必要があります。

●在宅避難を体験しよう

いざという時のために、
自宅で電気・ガス・水道を使えない生活を体験しておくことをおすすめします。

ステップ1・水道を使わない。
ステップ2・水道、電気を使わない。
ステップ3・水道、電気、ガスを使わない。

最初はステップ1に挑戦。
半日だけ行うなど少しずつハードルをあげてみましょう。

電気については、すべてを消す必要はありません。
冷蔵庫はそのまま、照明やテレビ等を使わないようにするなど
無理のない程度に実施してみましょう。

夏休みの体験として、学校で児童生徒に提案してみたり、
ご家庭で取り組んでみたりしてはいかがでしょうか？